

演習室でのプレゼン発表会におけるチャットに代わるコメント投稿方法

An Alternative Way of commenting to Chat on Presentation Practice in the PC room

梶木 克則^{*1}, 梶井 猛^{*1}, 那須 靖弘^{*2}

Yoshinori KAJIKI^{*1}, Takeshi MASUI^{*1}, Yasuhiro NASU^{*2}

^{*1} 甲子園大学 総合教育研究機構 ^{*2} 甲子園大学 現代経営学部

^{*1} I.G.E., Koshien University ^{*2} C.B.A., Koshien University

Email: kajiki@koshien.ac.jp

あらまし：情報処理演習で、パワーポイント作りから発表までを指導しているが、発表会での質疑応答は時間的余裕がないため、パソコンからコメントなどを投稿してもらい、全員から見られるようにしている。チャットによる投稿も可能であるが、最近ではグーグルのスプレッドシートやExcel Web Appの共有機能を利用すると、より効果的に見せることができる。しかし、クラウドサービスによるスプレッドシートの共有は、40人程度までのようである。大勢でも無理なくコメントなどを投稿できる方法として、グーグルのフォームを活用した。

キーワード：意見投稿，チャット，グーグルドキュメント，フォーム，授業支援

1. はじめに

情報処理演習の演習内容の1つとして、各自でテーマを決め、パワーポイントを使ったプレゼン資料を作り、発表するまでを指導している。最終回の発表会において、できるだけ多く発表してもらうには、質疑応答の時間を設けてはられない。そこで、演習室の利点を活かしてパソコンからコメントなどを投稿してもらい、リアルタイムに見ることができる方法について検討してきた。

パソコンを通じて意見を投稿する方法にはいろいろあり、古くからチャットが最も一般的であったと思われる。無料のチャットサイトを利用したり、NetMeeting というソフトがインストールされていれば学内 LAN を通じてチャットや画面共有を利用できる。こうしたチャットによる意見投稿では、各自の画面上で複数の意見をスクロールする形式で順に見ることができる。ある程度少人数で意見をやり取りしたり、感想を投稿してもらう用途にはチャットは使いやすいと思われるが、一方向にどんどんスクロールしながら意見が流れていくため、使いづらいところがある。

数年前からグーグルのスプレッドシートや Excel Web App の共有機能を使って、複数人が画面上のスプレッドシートを共有しながら、同時書き込みが行える。こうしたクラウドサービスを利用して、割合自由なレイアウトで、感想や意見を入力できる。この共有機能には人数制限があり、グーグルのスプレッドシートで 40 人程度、Excel Web App では 20 人程度までである。

今回、大勢でも無理なくコメントなどを投稿してもらう方法として、グーグルのフォームを利用してみた。「感想・意見・質問」の他に「良かったところ」と「改善点」の3項目について記述式で回答してもらい、集計画面を教示用モニタを通じて見えるようにした。本稿では、情報処理演習においてクラウド

サービスを活用して行ってきた意見投稿などの実践例について報告する。

2. コミュニケーションツールの利用

研究成果などの発表会であれば、その内容に対する質問やコメントを受け付け、答えるまでが必要であるが、演習の一環としてのプレゼン発表会では、できるだけ多くの学生に発表機会を与えることを優先してきた。そうした中で、教員一人の評価よりも、それを聞いていた学生の感想や質問の方が、いろいろな見方があり、意外性があり、本人にとってはより興味深いものようである。そうした考えで、1人程度の質疑応答に時間を費やすよりも、できるだけ多くの感想やコメントを発表者に返せる方法を検討してきた。幸いパソコンが利用できる演習室では、コミュニケーションツールを利用することで意見投稿が簡単に行える。

2.1 グーグルのスプレッドシートの利用

パソコン演習室においてこちらから出した質問に答えてもらう方法として、チャットやメールの件名に回答を入れて送信してもらい教示用モニタに映し、全員が見られるようにしていた。チャットの場合、複数の利用者の意見を書き込み、同時に見ることができるが、スクロールされるため同じ位置での書き換えが出来ない。

これに代わるものとして、グーグルドキュメントの文書やスプレッドシートを共有するサービスが、数年前から利用できるようになった。これによりブラウザ上の文書内に複数の人による書き込みや、スプレッドシート上で複数の人がセルを分けて入力することができる⁽²⁾。

このサービスは無料であるが、利用するにはグーグルのアカウントを作成する必要がある。パスワードは、各自自由に決めさせると、次回サインインし

よとした時に忘れていて、トラブルの元になる恐れがあり、組み合わせのルールを指導した。さらに画像の文字を入力する際にうまくいかないために、進行が中断することもあった。図1は、「高校でパソコンをどれくらい習ったか?」について入力してもらった例で、43人の同時編集ができていた。

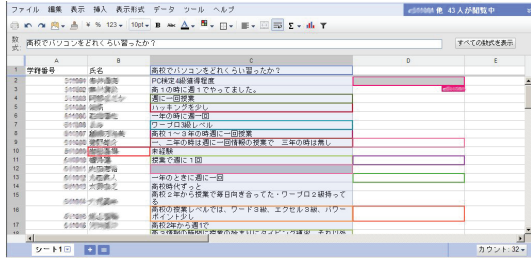


図1 グーグルスプレッドシートによる同時入力の一例

2.2 Excel Web App によるコメント投稿

本学では、マイクロソフトとの契約により Windows Live のアカウントを取得でき、Office Web Apps のサービスも登録なしにそのまま利用できる。しかし、Excel Web App での同時編集が可能なのは、20人程度が限界のようである。

図2は、演習室で行ったプレゼンテーションの感想を、スプレッドシート上に書き込んでもらった例である。行ごとに誰が入力するかを区別するために、左端に名前を入力してもらった上で、発表タイトル(2行目)ごとに「良かった点や質問」を入力してもらった。何人かに意見を言うてもらうよりも短時間に大勢のコメントを集めることができた。

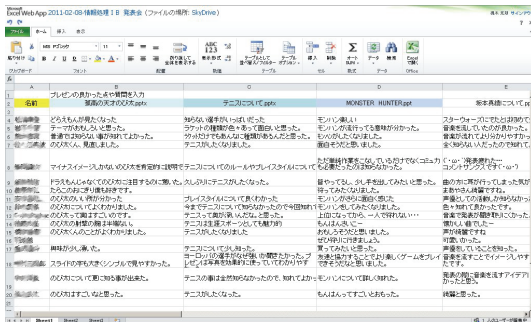


図2 Excel Web App によるコメント入力の一例

3. グーグルのフォームによるコメント投稿

グーグルのスプレッドシートやExcel Web Appの共有機能を利用したコメント投稿は、同時に多数の意見を見ることができるといってすばらしいが、40人を超える人数では難しく、パスワードを忘れてログインできないなどのトラブルが起こりうる。トラブルなく多人数でもコメント投稿できる方法として、以前からアンケート作成の演習などで利用してきたグーグルのフォーム⁽¹⁾を活用してみた。

このサービスは、Web上で簡単にアンケート画面を作成でき、だれでも回答でき、回答結果は即座にグーグルのスプレッドシート上に追加入力される。これを教示用モニタに映せば、全員に見せることも

できる。

3.1 コメント投稿のためのフォームの作成

どの発表に対するコメントかをはっきりさせるため、選択肢とタイトル入力欄を設けた。記名式とはせず、イニシャルで区別がつくようにした。3項目について記述式の回答欄を作成した。



図3 コメント投稿のフォーム画面

3.2 コメント投稿の実践例

各発表について40数人からのコメントが寄せられた。図4に示すグーグルのスプレッドシート上に、連番とタイムスタンプに続いて、フォームの回答内容が並ぶ。発表の最中に入力をしながら、終わって間もなく送信され、多数のコメントが寄せられる。

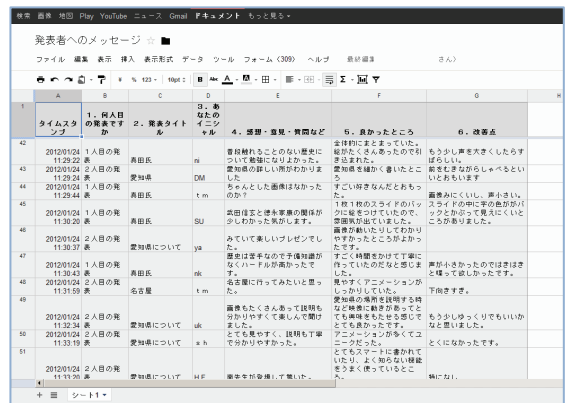


図4 コメント投稿の集計画面

4. まとめ

大勢の意見を即座に集め画面上に表示させる方法としては、グーグルドキュメントのフォームとスプレッドシートのサービスを利用するのが安全確実である。複数の項目に分けて回答してもらえ、答えやすい質問に分けることもできる。こうしたクラウドサービスを利用することで、参加型のおもしろい授業の進め方が実現できると思われる。

参考文献

- (1) 梶木克則, 那須靖弘, 榊井猛: “グーグルドキュメントのフォーム機能を利用したアンケート作成演習の試み”, 平成21年度情報教育研究集会, A3-4 (2009)
- (2) 梶木克則, 那須靖弘, 榊井猛: “Google ドキュメントの共有機能による共同編集を利用した授業支援”, 教育システム情報学会第35回全国大会, 26-F1-2 (2010)